

アジアを変革する 社会情報基盤 バングラデシュの挑戦



インターネットを中心とした社会情報基盤の構築は世界の社会経済構造を変革しようとしています。この講座ではバングラデシュの事例を紹介しながらアジアの社会情報基盤のあり方を議論します。

日時：2009年**2月20日(金)** 18:30～20:50 (18:00 開場)

場所：九州大学 箱崎キャンパス 九州大学国際ホール **※参加無料** 事前登録が必要です

開会スピーチ 講演者 **アシュラフ ウッドウラ氏** バングラデシュ大使

安浦寛人 九州大学 理事・副学長 (産学連携・情報政策担当)

飯島聡 九州大学 国際交流推進室 特任教授 (元 JBIC プロジェクト開発部長)

アシル アハメッド 九州大学大学院システム情報科学研究院特任准教授 (SSP 研究員)
グラミン コミュニケーションズ プロジェクトディレクター

稲永俊介・田頭茂明 九州大学大学院システム情報科学研究院 特任准教授 (SSP 研究員)

大谷順子 大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授、九州大学アジア総合政策センター協力教員

大杉卓三 九州大学大学院 比較社会文化研究院 助教、九州大学アジア総合政策センター協力教員

申し込み方法 FAX または E-mail で以下の事項をご連絡ください。

①聴講希望のアジア理解講座の名前 (「バングラデシュ」と記入して下さい)

②氏名 (ふりがな) ③ FAX または E-mail アドレス ④所属

※お申込み後、確認の案内はお送りしません。当日は直接会場におこしください。

申込み／お問合せ **九州大学アジア総合政策センター**

FAX : 092-642-4435

E-mail : ajiarikai@isc.kyushu-u.ac.jp

アジアを変革する社会情報基盤 バングラデシュの挑戦

インターネットを中心とした「社会情報基盤」の整備は、世界の社会経済の構造を変えつつあり、グローバル化の促進やフラット化に拍車をかけています。現在、インターネットの利用ができるのは世界人口のわずか 20% だけであるため、残り 80% を含む全ての人々が社会情報基盤を利用できるようにする必要があります。また、これからの社会情報基盤をどのようにデザインすべきか重要な研究テーマであるといえます。

九州大学は 2007 年 7 月にバングラデシュのグラミンコミュニケーションズと交流協定を結んでいます。グラミンコミュニケーションズは、2006 年ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス教授が率い、マイクロファイナンスで有名なグラミン銀行と同じグラミンググループの組織です。今回のアジア理解講座では、バングラデシュのグラミンググループや NGO、国際開発機関が実施するプロジェクトの事例を紹介しながら社会情報基盤構築のあり方を議論します。

九州大学 アジア理解講座「アジアを変革する社会情報基盤 バングラデシュの挑戦」は、九州大学次世代スーパースター養成プログラム (SSP) 社会情報基盤構築プロジェクト、
<http://www.ssp.isee.kyushu-u.ac.jp/social/>
 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト (P&P) B1 タイプ「アジア地域における人間の安全保障の観点による社会開発の新たなフレームワークの研究」(研究代表：大杉卓三、大谷順子)
<http://www.scs.kyushu-u.ac.jp/~ppca/>
 の研究教育活動の一環として開催します。

会場案内地図：箱崎キャンパス 九州大学国際ホール



九州大学アジア総合政策センターでは、アジアの国々や文化、また、現代アジアの最新情報などをわかりやすく一般市民の方々へ紹介するため、「アジア理解講座」を定期的で開催しています。「アジア理解講座」も含めた九州大学が発信するアジアに関する情報は、アジアセンター友の会メールマガジンにご登録いただきますと、定期的にお送りいたします。ぜひホームページからご登録ください。

主催：九州大学アジア総合政策センター

Tel:092-642-4433 Fax:092-642-4435 <http://asia.kyushu-u.ac.jp>